

ビデオプロジェクターのご利用について

接続方法

主催側で準備・手配

当日お持ちのコンピュータ



⊕ 拡大



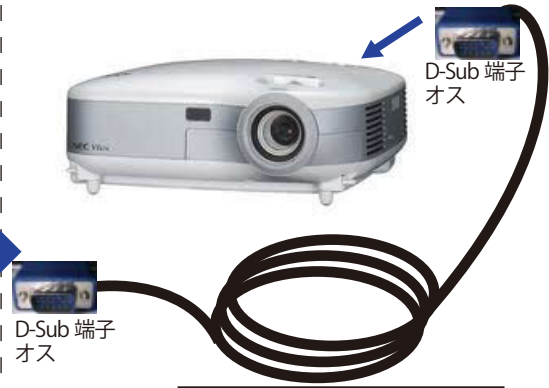
D-Sub 端子（ディー サブたんし）メス
この形のコネクタへ接続します。

□ や □ などの表示があります。

※ これ以外の端子を持つ機器をご使用になる場合には、
D-Sub 端子へ変換するコネクタを必ずご用意ください。

会館で備えているもの

※ご利用になるホール、投影する場所により
ビデオプロジェクターの機種やケーブルが異なります。
(下図例は小ホールで客席から投影する場合です。)



D-Sub 端子
オス

D-Sub 端子
オス

接続ケーブル × 1 本

複数の演者がいて、複数のコンピュータを入れ替えながら使うケースについては、『つなぎ替えたら映らなかった。』というトラブルが生じることもあります。舞台の進行をスムーズに行うためにも、1台のコンピュータにデータをまとめてしまうことをおすすめします。

ご案内

機器の相性等で映らない場合もありますので事前に確認しておく
ご利用当日の作業がスムーズです。

事前確認の一例

当日お持ちのコンピュータ



D-Sub 端子メス

D-Sub 端子オス



お手持ちの液晶ディスプレイまたは CRT ディスプレイ

D-Sub 端子オス



D-Sub 端子メス



D-Sub 端子メス

接続したディスプレイとコンピュータの両方で映像が出ることをご確認ください。

※ どちらか一方しか表示しない場合は、コンピュータ側の設定で不具合があると考えられます。その際には設定の変更、もしくは別のコンピュータをつないでみてください。

ご不明な点はお問合せください。

長野県伊那文化会館

電話 0265-73-8822 / ファクス 0265-73-8599